

滞在地

日向市・椎葉村

参加日程

12月8日（金）～12月12日（火）

出身地

北海道増毛町

在住地

東京都渋谷区

1. 「ちょっと暮らし」に参加した理由

宮崎の神話や民話に興味があり、山も海もある環境の良さに惹かれていました。そのタイミングで、こちらのプログラムを友人から紹介してもらい、ちょうど椎葉村で12月に夜神楽があるとのことで、応募しました。

2. 全体の感想（リモートワーク、体験プログラム等）

リモートワーク

椎葉村の交流拠点施設「カテリエ」内にある図書館での作業環境は非常によく、電源もあり、広いデスクもあり、ネットも完備。ネットは一度繋げると8時間繋げるため、何度でも通いたい。

体験プログラム

椎葉村の博物館にてガイドツアーをお願いした。それぞれの季節や、各地域の文化を教えてもらえ、非常に満足した。

その他

もっと宮崎の民俗学、神話スポットを巡りたいと改めて思った。

3. 「ちょっと暮らし」前の宮崎暮らしへの不安・課題点

- ・作業に支障のないコワーキングスペースがあるかどうか
- ・宿のネット環境はどうか
- ・公共交通機関

4. 「ちょっと暮らし」を通して解決できた点

- ・不安点にコワーキングスペースの有無をあげたが、椎葉村に関しては「カテリエ」があるため、安心して作業ができた。

5. 今後、宮崎暮らしを実現させるために必要なこと

日常の移動をスムーズにするためにも車の免許、車の購入が必要。

6. ちょっと暮らしをしてみて気づいた宮崎の魅力

山間部の狩猟が残る地域の神楽にとっても感動した。空気や風も気持ちよく、水や山菜などの食べ物が美味しい。生活に必要な地域の商店や、地元を元気にする地域発のブランド商品などが共存している空間がよかった。

7. 宮崎移住を検討している方へ一言

宮崎は広く、山も海も飲み屋街も文化もなんでも揃っているのだから、自分好みの魅力を探せる場所だと思います。まずは行って見て、食べて飲んで体験してもらいたいと思います。

8. 滞在地とスケジュール

1日目	日向市→椎葉村
9:40	宮崎空港着
10:00	日向市へ電車移動
11:00	日向市観光協会へ
11:30	日向市の定食屋にてカレーを食べる
12:15	スタバへ移動し、バスの時間まで作業
15:08	日向市駅発の椎葉村行きバスへ乗る。
18:00	椎葉村着。「カテリエ」へ。
21:00	宿にて作業
24:00	就寝
※村内での移動はすべて徒歩	

2日目	椎葉村
9:00	起床
10:00	「カテリエ」へ（レンタカーで移動）
13:00	地元の定食屋さん「椎葉村物産センター平家本陣」へ。（レンタカーで移動）
15:00	椎葉村の夜神楽会場へ行き、準備を見学させてもらう。
17:00	会場でご飯をいただく
18:00	夜神楽スタート
27:00	就寝
※村内での移動はすべて徒歩	

3日目	椎葉村
8:00	起床
10:00	地区の直会に参加
18:00	鶴富旅館にチェックイン
19:00	友人宅にてご飯をいただく
24:00	宿に帰り、作業
26:00	就寝
※村内での移動はすべて徒歩	

4日目	椎葉村
07:30	起床、宿にて朝食
10:00	「カテリエ」へ移動し作業
13:00	「カテリエ」でランチ
17:00	閉館まで作業
18:00	鶴富旅館へ。重要文化財の鶴富屋敷にてご飯をいただく
25:00	解散・就寝
※村内での移動はすべて徒歩	

5日目	椎葉村→日向市
8:00	宿で朝食
10:00	椎葉民俗芸能博物館へ行き、ガイドをお願いする。神楽の本やガイド本、宮崎の神話スポットについて書かれた本「宮崎の神話伝承」を購入
12:20	椎葉巖島神社参拝
12:50	椎葉発のバスで日向市に向かう
15:30	日向市着、電車（JR）の時間までスタバで作業
17:00	日向市駅から宮崎空港へ出発
18:00	宮崎空港着
18:45	羽田行き飛行機離陸
21:00	帰路

9. 自由記述



本当に最高の作業空間を提供してくれた「カテリエ」内の図書館。また、洗練された選書で、ずっと入り浸って本を読みたい気分になされた。電源もあり、広いデスクもあり、ネットも完備でした。ネットは一度繋げると8時間繋げるため、切れる心配もなし。

重要文化財の鶴富屋敷で晩御飯をいただく。ほとんどが椎葉村で取れたもの。鹿や猪、山菜にヤマメ。どれも絶品。木挽と一緒にいただきました。



見学させていただいた夜神楽の拝殿。狩猟が残る土地ならではの、猪が2頭も捧げられました。古式に習って、猪の肉を焼いたものもいただいて感謝です。

神楽を拝観。集落の人たちが入れ替わり立ち替わり、神になったり、猟師になったり、獣になったり。自然と人間の対称性をまざまざと見せつけられた。コミュニティの最小ユニットがどんどん小さくなる現代、土地への愛や他者と自分との繋がりを感じる平和感というのはこういうものから生まれるのかもしれないと感じた。



博物館で観た。荒神面。こんな三面のもの初めて観た。禍々しくも、おどろおどろしくもあるけれど、同時に神秘性も感じる。